

同窓会だより

●発行
千葉県立船橋高等学校同窓会
 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1
 ホームページ <http://www.dosokai.ne.jp/kenfuna/>
 E-mail funaobog@gmail.com

●印刷 (株)サラト
 姫路市北条宮の町172番地
 TEL 079-284-1380

題字/小原天籟先生



改修工事中の武道場

母校は今

昭和四十五年、創立五十周年新築校舎落成記念式典が挙行されて以来、昭和六十一年、第二特別教室棟(新館)が竣工。令和二年、創立百周年記念式典が挙行され、この年に、「千葉県県有建物長寿命化計画における県有建物の一つとして本校校舎の長寿命化改修工事」の基本設計が始まった。むこう約三十年間、校舎を建て替えずに使用できるような改修することが目的だ。これにより、敷地内の建物全般(セミナーハウス、部室棟を除く)が仮設校舎に順次移転することになる。仮設校舎は上グラウンドに設置予定である。令和四

年八月に着工した武道場は現在改修中である(上写真)。また、南館と新館は令和五年八月に着工予定であるため、それまでに機能を仮設校舎に移転することになっている。その後、本館(令和七年)・プール(令和八・九年)・体育館(令和九・十年)と順次着工予定である(カッコ内は令和四年九月十五日現在での予定工期)。

南館の移転に向けて、校内のあちこちで準備が始まっている。備品の整理もその一つ。研究室の備品には、古いもので昭和四十年代のものもある。地学準備室には現在はその目的では使用されていない「暗室」がある。天体写真の現像に使用していたらしく、かなりつくりのしっかりした現像機が残されていた。惜しいと思いつつも、これは廃棄することにした。ブラウン管式の大型テレビ二台も廃棄した。サンプルとして全国各地で採取した岩石は、産地が確かだ、かつ史料価値の高いものは残すことにした。地学部の活動日誌は残す方向で整理中である。一方で、仮設校舎の容量の都合上、残したいものすべてを残せるわけではない。優先順位付けが重要だ。文献や物品の史料価値を、船高の歴史に深く関係する文献および物品におくとする。史料価値の判断は簡単ではない。歴史を知っている必要があるからだ。史料価値のあるものの幾つかが、この機に失われる危険があることも忘れてはならない。「千葉県立船橋高等学校百年史」には、船高創立以来の百年の歴史が事細かに記されている。これを見ると、時代や世相の移り変わりの中で、船高がどのような役割を担ってきたかがよく分かる。さらに、校舎の設計に際して恩師諸氏の粘り強い取り組みが形になり、内部施設、設備も特色あるものになったと綴られている。

長寿命化工事に関わって、敷地の何か所かでボーリング調査が行われた。深度三十メートルに及ぶボーリングサンプルから、十数万年前から現在までのこの土地の歴史(地史)

を辿ることができると、地学部の生徒と顕微鏡で観察してみると、船高の敷地は十数年前頃まではアサリやホタテが棲む海底であり、その後、陸化したと考えられる。私たちは、陸化する直前にはこの辺りが「砂州」だったのではないかとの仮説を立て、検証してみた。砂州の堆積物は金属を含む鉱物が優勢で、円磨度は比較的大きく、粒径がそろい、風化により生じた粘土鉱物の含有量が低いと見立て、地下数十メートルの領域に砂州堆積物が間欠的に生じているとの結論に至っている。船高が竣工する遙か昔のことにさえ触れる機会となったことは、私にとっても意外だった。

今に残されているものを手にし、文献に目を通すと、それを残した恩師諸氏、先輩方の想いに触れられる気がする。一方で、受け継がれてきた環境は、使用する者たちがそれを生かさないうり限り価値は生まれてこない。だからだろうか、時折、不思議な感情が湧く。大正九年、船橋大神宮客殿に始まり、昭和・平成の時代を経て令和の今日まで、沢山の人生が船高を形づくり、沢山の人を世に送り出してきた船高が、私たちに寄り添い続ける場所であると同時に、とても遠い場所にも思える。私はこの場所にふさわしい存在になり得るか? 自問自答しながら、今日も私は仮設校舎移転に向けて地学研究室の整理をしている。

理科(地学) 教諭 小原 稔(昭和60年卒)

同窓生&在校生

(令和4年10月1日現在)

同窓会会員数 36,011人
 名簿登録数 35,629人
 うち全日制 29,088人 (中学含む)、
 定時制 5,319人 (農業科含む)、
 旧職員 1,222人
 住所不明者数 12,315人

在校生 1,288人
 全日制 男632人 女441人 計1,073人
 定時制 男140人 女79人 計219人
 教職員 120人
 全日制86人 定時制34人
 (うち同窓生13人)

ご挨拶



同窓会会長 島崎 喜一(昭和48年卒)

奈良の古刹に遊ぶ。修学旅行や学生時代に訪れた名所の再訪から始まり、いつの間にか仏像拝観がメーンとなったが、年に数回は出かける。古都ばかりではなく、東博の11室でも楽しい時間を過ごすことができる。と、仏像との出会いを重ねるうちに、その種類や性格への興味が始まり、技法、作風や材質の推移、そして時代背景へと好奇心が広がり、とうとう古代「日本史」関連の書籍(未だ入門書)にも手を伸ばした。

母校で歴史を学んだ頃から半世紀も過ぎ、「科学の進歩」は計り知れず、何より「日本史」に興味のなかつたことも幸いし、老骨に活字の翳む古代日本は新鮮だ。新たな発掘や発見はあまりに多く、伝承が史実となったり、遺跡の下から更に古い遺構が発掘されたりとこの分野での進歩に目を見張る。

中でも大量に見つかった「木簡」が古代の記憶を蘇らせていることには驚いた。荷札やら告知やらメモやら些事にまで及ぶ破片は文字の力を再認識させてくれる。研究者は墨書を読み解く。

さて、8月の総会で百周年行事の最終報告も終わり、「千葉県立船橋高等学校百年史」が上梓されている。600ページを超える冊子には、写真、年表、図表と創建から今に至る船高が見事にまとめられており、引用、参考とされた資料と共に長く母校に保存され活用されたいことを期待したい。改めてご尽力いただいた先生方に感謝申し上げる、また、同窓会の皆さんはこの記念誌にお目通しをお勧めしたい。船橋市や近隣市の図書館、国会図書館、県の図書館、公文書館でも閲覧可能だ。活字が往時を蘇らせるかもしれない。

コロナ禍の出口に薄明が差し込んできたが、同窓会を暫しの充電期間にある。年明けの記念演奏会を皮切りに、令和5年度の再始動を期したい。

船高変革期



千葉県立船橋高等学校 校長 酒匂 一揮

同窓会の皆様には、日ごろから本校の教育活動への御支援、御協力を賜りますことに、心より感謝申し上げます。

私は、昭和55年3月に本校を卒業し、令和2年4月に、100周年を迎える本校にとつて初めての同窓校長として着任し、3年目を迎えました。本来ならば3月に定年退職を迎えるはずでしたが、今年度から始まった再任用校長制度の1期生として、本校に継続して赴任しております。創立103年目となる本校の今後の発展に寄与できる喜びをかみしめております。

私が赴任した令和2年4月から、新型コロナウイルスが教育現場を襲い、緊急事態宣言などにより、生徒、教職員は翻弄させられてきました。しかし、全日制では、3年連続して現役生の50パーセント以上が国立公立大学に合格し、高い進路実績を堅持しております。特に、東大、京大、一橋大、東工大の現役合格者数が50名を超えたことは、生徒たちの頑張りや顕著するものであります。部活動においては、ソングリーディング部、放送委員会、生物部が全国大会に、陸上部、水泳部が関東大会に進出しました。

一定時制では、行徳高校定時制と統合するとともに、普通科から総合学科となりました。24年生の普通科生と1年生の総合学科生の併科高校となります。生徒たちは、とて

Table with columns for graduation year and name. Includes names like 高田 健, 長谷川 大, etc.

卒年(3月)別の学年理事の一覧となりますが理事が選出されていない学年があります。該当する学年は、卒業時に選出された学年代表または同期同窓会を開催した時の代表幹事などを基に学年理事を推薦してください。決定しましたら同窓会事務局までご一報ください。またご質問等がありましたら同様に願います。

ご挨拶



千葉県立船橋高等学校 教頭 木村 一男

も熱心に授業を受け、部活動も盛んになってきました。バドミントン部は2年連続で全国大会に出場し、サッカー部においては、全国大会3位と大健闘でした。新教育課程の導入、定時制総合学科改編、校舎改修工事に係る仮設校舎建設の開始と、本年度は船高大改修元年となります。生徒たちにとつて、よりよい学習環境の構築に向け、同窓会会員の皆様方のさらなる母校への御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

今年度全日制教頭として赴任してまいりました木村と申します。3月まで教壇に立つており、教頭になって初めて赴任した勤務地が船橋高等学校ということ、4月から緊張の連続でした。右も左ものみならず、自分が今どこにいて、何をしているのかさえ、よくわからないまま、とにかく目の前の仕事に食らいついてきたという感想です。それが正解だったのか、失敗だったのか、まったくわかりません。船橋高校は、赴任前に抱いていた学校とはまるで異なりました。3月までは、これまでの進

学校での勤務経験から、きつと「生徒任せ」で、「自由奔放」なんだろうと勝手に想像してました。しかし、それは全く事実と異なっていました。私の予想は完全に裏切られました。先生方は本当に献身的に生徒の指導にあたっていました。毎朝、放課後、そして土曜日さえ、たくさん時間を費やし、一生懸命に生徒のために頑張っている職員をみて、驚いただけではなく、本当に感激しました。そして、その時から、よく招かれる高校説明会等では、「船高は学校が生徒を育てるところです」というのが、木村の決め台詞になりました。どの学校でも言えそう、実は意外と言えない言葉と思っています。さて、県立船橋高校は2020年に100周年を迎えました。これまでたくさん素晴らしい卒業生を輩出してきました。第95代首相野田佳彦さん、ジャーナリストの江川紹子さん、ディーンフジオカさん、そして定時制からは劇団ひとりさん、などなど。たくさんの方々がそれぞれの分野で輝いています。私は、学校説明会で最後にこう言うことに決めていました。県立船橋高校は2年前に100周年を迎え、現在、私たちが船高2世紀と呼んでいます。これからも船高高校は輝き続けます。船高2世紀を彩る仲間みなさんも頑張ってみませんか?。そのような素晴らしい学校に勤務できたことが今ほっとも誇らしく思います。まだまだ未熟な点ばかりですが、ご迷惑をおかけすることもありますが、これからも一生懸命に頑張ります。ご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。

令和4年度 総会報告

本年度の総会は例年通り学校で開催する事が出来ました

八月七日開催の総会の結果、令和三年度事業・決算の報告、令和四年度の事業計画・予算、役員改選、監事の交代がありました。

令和三年度の春の同窓会はコロナ禍の影響で中止となりました。

令和三年度の決算と令和四年度の予算については別表の通りです。

決算では、春の同窓会の開催中止(支出も無し)と同窓会入会金の集金時期ずれによる影響が残りましたが、同窓会運営費の収入が増えました。

創立百周年記念事業関連の会計報告がありました

創立百周年記念事業実行委員会の決算報告は別枠の通りです。なお百周年記念事業の残予算、創立記念募金事業(過去のものを含む)の残金を合わせた一、八三三、三一〇円は創立百周年記念事業実行委員会が管理するべきところですが、同委員会は解散してしまつたので同窓会の一時預かりとします。



学校設備の充実化に役立てていくこととします。

創立百周年記念演奏会の共催と支援について

二〇二三年一月二二日に開催が予定されている、在校生(約八〇名)および卒業生(大学生約五〇名、社会人約百名)合同による記念演奏会を同窓会の創立百周年記念事業として船高記念演奏会実行委員会と共催で開催します。

千葉県立船橋高等学校創立百周年記念事業会計報告

歳入の部

Table with columns: 科目, 決算額, 説明. Includes items like 寄付金, 積入金, 雑収入.

歳出の部

Table with columns: 科目, 決算額, 説明. Includes items like 総務費, 記念誌作成費, 式典・講演費, etc.

令和3年度決算及び令和4年度予算

1. 収入の部

Table with columns: 科目, 4年度予算, 3年度予算, 3年度決算. Includes 繰越金, 一般会計, 会費, etc.

2. 支出の部

Table with columns: 科目, 4年度予算, 3年度予算, 3年度決算. Includes 会議費, 総会, 理事会, 需用費, etc.

同窓会運営費にご協力を

【お願い】同窓会では、母校生徒の学生生活の支援(教育環境の改善・部活動の後援)及び卒業生の交流促進への後援を強化していきたくと考えています。

【ご注意】ゆうちょ銀行の払込サービス料金の改定により令和4年1月17日以降、郵便局から現金で振り込む場合は料金(110円)が払込人様負担として加算されます。

- インターネットバンキング等で手数料が割安な場合、銀行振込をお勧めします。
金融機関：ゆうちょ銀行
支店名：〇一九(ぜろいちきゅう)
当座預金
口座番号：0081026
口座名：ちばけんりつふなばし こうとうがっこうどうそうかい
振込人のお名前の後に必ず卒業年(西暦4桁数字)を付け加えてください。

船高の歴史より(一) 船高図書館の書庫から

山田敏明 船橋高校講師
(昭和四十九年卒)

三十年以上にわたって執筆なさった小川信雄先生を引きついで今回より山田が担当させていただきますことになりました。日本史をご専門とする小川先生のように展覧できないかもしれませんが、「船高の歴史」に「より」をつけて、事実を確認しつつ考察をさせていただきます。

▼GHQ関東軍政部寄贈本を発見

千葉県立船高の現校舎の一切増設をしない補修が発表されたのは、今から三年ほど前のことでした。南館の図書室も当面仮校舎へ引越すため、図書室を整理し、傷んで読めない本、書庫にある本を中心に登録抹消・廃棄する選別作業が続けられていました。その過程で、図書館保管の「船高高校新聞」の第一号(一九四九(昭和二四)年六月発行、第一回千葉県学校新聞コンクール一位・最優秀賞)が確認されました。新制高校発足頃の船高新聞については、関川進さんの「新聞部発足の頃を想う」と小川信雄先生の「新制高校草創期の船高新聞」(ともに「県立船橋高等学校百年史」所収、以後略して「百年史」)に詳細が語られていますが、その一面トップの見出しが、「發展する學校圖書館 縣下随一と折紙 軍政部より賞讀さる」次の見出しは「縣下の高校續々來校」というものでした。記事の一部は次のとおりです。

「本校の図書館は過般朝日千葉両新

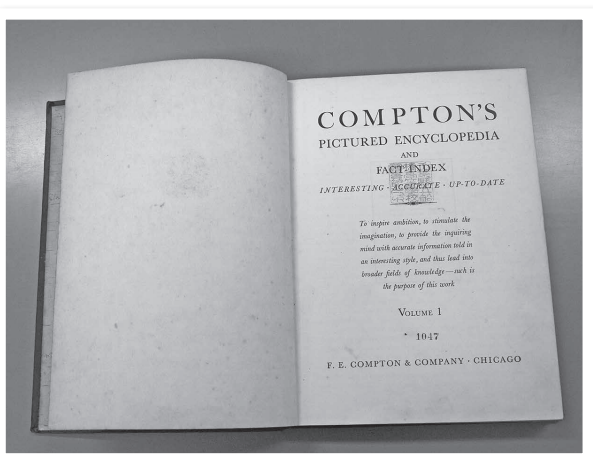
間にも取り上げられた如くその施設及び運営については関東軍政部のフォックス氏東軍政部の教育課長ブラウン氏、或はホイットマン女士等の賞讀している様に確かに縣下に誇るべきものであり県内は勿論の事遠くは大阪あたりからも観察に來るような状況である。しかし乍ら図書館の生命といふべき蔵書の量及び質を見るとき約一千二百冊にすぎず県有圖書の二百五十冊余り加へても基準とされてい一人當り五冊の蔵書数には遠く及ばない状況である。」

また、「フォックス氏が來校された折、貸與された本は諸君の御好意によつて寄贈された圖書と並んで永く記念されるべきものである」とあり、その後には図書委員会の談として、寄贈によつて蔵書が五百冊増えた旨、小説一冊は貸し出せる旨を伝えていきます。

この度、破棄するかどうかを判断しなければならぬ圖書の山の中に、

COMPTON'S PICTURED ENCYCLOPEDIA AND FACT INDEX が十五巻あったのを発見しました。この絵入り百科事典こそ、「フォックス氏貸與の本」であることは、これも書庫の奥に眠っていた「図書目録」の第一巻に「洋書・寄贈」とあったものであることから確認でき、「保管すべき図書」の側に移動することができました。

左の写真はフォックス氏寄贈の百科事典



▼GHQ関東軍政部が船高に注目した事情

『百年史』より当時の山口久太校長の文章を引用します。

「着任後すぐに取り組んだのは図書館の整備であった。図書館を学校の心臓部にして、そこから船高の立ち上るエネルギー、勉強する雰囲気を出していこうという考えからであった。このため、裏の方にあった木造二階建を改装して図書館にする」とともに、鈴木英二君に、最も新しい時代を迎える図書館はどうあるべきかという観点で研究してもらい、その結果おそらく戦後日本ではじめてだと思ふが、開架式図書館に踏み切った。書籍の切り取りや紛失の点で運営上の問題があるという意見も多かったけれども、生徒を信頼した。そして続けて読書室と陳列室に分け生徒が自由に本を取

り出して読めるようにした。結果的にはこれが成功し、図書館のつくり方、運営方式は全国でも最優秀だということになり、文部省も強く推薦して、全国から船高図書館を見学に來るようになったのである。当時、米軍の関東地区を受け持つフォックスという人が見に来て非常に感心し、英語の絵入り辞書を十数冊寄付してくれたこともあった。」

当時、「戦後六三制教育の発足にとともに」

「船高を六三制教育のモデル校にしたいということ、千葉県地方軍政部のホイットマン女士などがたびたび学校を訪れて強い働きかけを行」い、「関東地区の責任者であるフォックス氏が最終的な要請に來た(『百年史』同山口校長記)」「アメリカ当局が船高に注目した理由の一つは、船高が新しい図書館教育の最先端を進んでいたことだと考えられます。それがフォックス氏が本を「貸與(実は寄贈)」したということにつながっています。」

▼生徒が立ち上げた図書館活動

山口校長が学校の心臓部とし、GHQも注目した船高図書館の活動は、生徒が立ち上げたものでした。『百年史』の鈴木英二先生の「図書館活動の思い出かれこれ」の記より引用します。

「船高高校に図書館活動が芽生えたのは、たしか昭和二十一年であったと思う。当時の船高は、もちろん木造の校舎で、敗戦直後のことでも

あり、校舎は荒れ果て海岸から吹き寄せる風で、砂ぼこりが廊下や教室に積もり、生徒諸君の多くはそんな校舎内をはだして闊歩していたものである。(中略)新学制はまだ公布されておらず、五年制の県立中学校であった。戦時中の圧迫から解放され、生徒諸君のなかに自由の気がみなぎっていた。それがさまざまなかラブ活動の創立となって表われ、図書部を作ろう、という動きもこのような背景からであつたらう。

当時四年生に在学していた鷺谷昂君と石川三郎君とが、私のところにやってくる。『図書部を作ろう』と思うが、顧問になつて下さい。』と言う。国語科主任の紺野先生にお願いに上つたところ、『図書係は鈴木先生だから、鈴木先生にお願いしなさい』ということだつたと言うのである。」

新制船橋高校の発足が一九四八(昭和二十三)年、生徒会が成立するのが翌一九四九(昭和二十四)年であった。従つて一九四六(昭和二十一年)創部の「図書部」は、生徒のなかから自然発生的に生まれたもので、現在のように本校の教育組織のなかにきちんと位置づけられたものではない。『百年史』同鈴木先生記)のです。ちなみに船橋市立図書館は昭和二十一年十一月、当時の市役所内に開設、書架六段金網張り半接架式で五間、図書八百冊、雑誌二十種、新聞四種(『船高の概要』昭和四十五年船橋市立図書館)であった。明治三十二年制定の「図書館令」に替わり、「図書館法」が制定されたのは昭和二十五年、先立つこと四年の地元公共図書館の誕生でした。一方、学校図書館については、仏教大学教育科山田泰嗣教授の「戦後初期における学校図書館の



整理中の図書館書庫

総面積三八四・五㎡(普通教室四室分以上)の四階の現図書館(『創立五十周年記念誌』加賀勇吉先生記)に蔵書を移動し、新たな図書館活動を展開しました。

それから五十余年、特にこの四半世紀はコンピュータの普及とインターネットの利用、さらなる技術革新により、「より速く、より小さく、より軽く、よりやさしく」情報を伝えることが目標となり、読書量や図書館を利用する意識に大きな変化が起こりました。資料から新しい情報を得る場合、理系では九割が書籍よりもインターネットを利用し、文系でも同様の傾向が顕著になってきています。著しい書籍離れ、図書館離れです。そんな今、書庫から出した本の中に多くの修理製本したものがああります。『百年史』同鈴木先生記より引用します。

は書架に残っており、利用されていると思う。」
この頃から七十年余り、利用不能な、書庫の中に置かれていたこれらの図書の多くが抹消されることになるようです。長寿命化工事を行うため、仮校舎への引っ越しをふまえ、高校生の利用率の高そうな図書を優先的に残していく方向で整理が進められていきます。係の先生によれば、現在登録されている約五万五千冊の図書のうち、一万冊前後が整理の対象だということです。また、図書館は、今後防災上廊下を棟の端まで貫かなければならぬため、空間は狭められ、書庫をなくす方向で工事計画が立てられるようです。

▼情報化が進む環境の中で

船高のような学校の図書には少なくとも二つの価値があるように思います。一つは利用されてこそその価値、もう一つは書籍をとりまくかつての時代状況やその状況における

人間の思いや活動を伝える証人としての価値です。フォックス氏寄贈の絵入り百科事典や修理製本された図書、普段は利用されなくても図書館には必要だと判断された書籍や全集、現在は電子化された、かつては図書の後ろ扉にあった記名式貸し出しカードは後者にあたり、さらにもっと利用しやすい電子データに急激な速度であらゆることばが置き換えられる一方で、後者の価値が軽んじられ、無視されていくところに、これからの経済を最優先する現代社会の一面が強く表れています。すでにインターネット利用による様々な問題が、文化の面や人間関係、心の発達の中で顕在化していますが、教育現場では、ICTの積極的な導入が決まったばかりだと言えます。学校図書館の衰退は、生徒の成熟ばかりでなく、成熟した社会の形成をますます遅らせる象徴のように思えてなりません。

展開「『学校図書館の手引』編集の時期を中心に」によれば、戦後教育改革の中で、一九四六年の第一次米國教育使節団の報告書に基本的な方向付けがなされ、一九四八年に文部省が『学校図書館の手引』を刊行、一九五〇年、学校図書館の将来の方向を第二次アメリカ教育使節団が具体的に示唆し、「学校図書館法」が制定されたのは一九五三(昭和二十八)年と記載されています。(一九四九年のフォックス氏らの船高への来校はこの教育改革の一環だといえます。)船高ではこれら政府による学校図書館関連の指導や法令化よりもずっと早く、生徒が図書館活動を開始し、先生方の協力を得、「日本十進分類法」を知る前から創意工夫によって学校図書館を機能させていったことは、船高の歴史を語る上で最も誇れることの一つと言えます。

▼最初の図書館設立前後

「収集した本は本箱」どのように工面したのか全く記憶がない。新調

できる時代ではなかったから、どこからか古物をさがし出して使ったのであろう。一に納め、当時正面玄関を入った右側の小部屋の一隅に収めた。この部屋は兵器庫だったのを改造したとかで、職員会議などもここで行なわれたように記憶している。こうして図書室は店開きをしたのであるが、一般生徒諸君の関心は薄く、期待したほどの利用はなかった。その後、校内の各室の利用計画が変わるにつれて、この本箱もあちこちと転々とせざるを得なかった。(『百年史』同鈴木先生記)
その後、一九四八年、山口校長の時に旧校舎にアメリカン・スクールの図書室の設計そのままの、二教室を改造した、総坪数五十三坪の「日本初の」開架式図書館が完成し、冒頭の「船橋高校新聞」の第一号の記事に繋がっていきます。

▼書庫のない図書館へ

一九六八(昭和四十三)年、現在の南館が完成し、閲覧室三〇八・五㎡、司書室・委員会室・書庫各一九㎡、

千葉県立船橋高等学校百年史

正誤表 追加分

69頁 下20行目

↓ 服装は左胸に(誤)

↓ 服装は左胸に(正)

94頁 上12月15日

↓ 期末考査。終業式なし(誤)

↓ 期末考査と終業式なし(正)

百年史有償頒布のご案内

本ページの記事にあります、百周年記念事業で編集した令和3年3月15日発行の『千葉県立船橋高等学校百年史』を、ご希望の方に有償頒布します。希望される方は、下記要領でお申し込みください。100冊程度を予定しています。

記

- 1. 1冊につき費用：9,000円(百年史8,250円+送料等750円)を、現金書留を使用して、下記宛てお送りください。なお、「百年史希望」を明記し、「郵便番号・住所・電話番号・氏名(必須)」等を必ず記載されますようお願いいたします。

〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1
千葉県立船橋高等学校 同窓会事務局

- 2. レターパックを利用して送付いたします。
※事務局員は母校教員が務めており、業務が滞ることもあることをご理解ください。

お問い合わせ：千葉県立船橋高等学校 同窓会事務局
電子メール funaobog@gmail.com
ファクシミリ 047-426-0422
※事務局員である母校教員は、生徒への対応が主業務です。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

昭和44/1969年卒業

奥鈴田中野安江清仲石積森金川円小向安久渡小菊高田林丸山公太田池小水柳宮柳野藤小伊川西藤星三大柳橋黒水飯稲吉竹萩青酒新三井津川藤笠森田山野岸射佐田鶴前渡伊原長谷川畔大織坂田松浅田島多藤増田

昭和42/1967年卒業

柴玉八渡布川藤中柳堀中加市鎌齋松宇佐美(高尾)徳丸川口本川丸部山野倉田矢名田田辺(中)崎崎高橋(松尾)川高柳岡川炭山難波(大和田)嶺川(嶺川)野二幸田本井(新井)津川藤笠森田山野岸射佐田鶴前渡伊原長谷川畔大織坂田松浅田島多藤増田

昭和45/1970年卒業

池小水柳宮柳野藤小伊川西藤星三大柳橋黒水飯稲吉竹萩青酒新三井津川藤笠森田山野岸射佐田鶴前渡伊原長谷川畔大織坂田松浅田島多藤増田

昭和43/1968年卒業

古川岡野野宮木上嶋張来村中鈴木山野福松園藤和照(田)間藤田谷川康齋(千木)岩井安山隆(武部)重信(藤井)絹子長田(神田)永子

昭和46/1971年卒業

秋山守山野岸射佐田鶴前渡伊原長谷川畔大織坂田松浅田島多藤増田

昭和37/1962年卒業

今藤三大久金山西八藤代山厚石八公孝裕厚一重七久郎雄郎

昭和40/1965年卒業

石高崎野小谷野村正崎尾(田中)朋子大島(佐藤)サチ子浅田(武原)英子岡垣(大石)雪枝飯浅今松小鶴山平藤三宮川(本間)康子寺宮原口桜井(伊藤)綾子石渡(柴宮)恵子井上節政(川崎)文江山田(志島)満理子桐野(矢島)嘉子及川(萩原)順子鈴木(平野)智子川地(古川)都子佐藤哲義男土佐武男

昭和41/1966年卒業

満留修根野光隆塚田(藤田)光司今給黎黎田

昭和31/1956年卒業

山本(橋本)和加山本丸昌飯田藤真作中内(川島)興子高山(渡辺)訓江芦田(清家)宏子武田(近藤)三子真道(田中)益栄高須賀(牧野)睦子浅海(渡井)洋子穴麻生(藤本)正一杉山(藤本)裕子小谷野村正崎尾(田中)朋子大島(佐藤)サチ子浅田(武原)英子岡垣(大石)雪枝飯浅今松小鶴山平藤三宮川(本間)康子寺宮原口桜井(伊藤)綾子石渡(柴宮)恵子井上節政(川崎)文江山田(志島)満理子桐野(矢島)嘉子及川(萩原)順子鈴木(平野)智子川地(古川)都子佐藤哲義男土佐武男

昭和38/1963年卒業

藤代政夫齊藤島機四相坪(関)榮作山本(橋口)通子間地(有泉)登美子齋藤達夫高花澤正三矢穴倉原原恒大野木(林)弘道松尾益野孝昭高山橋寿寺古澤正松本(原田)明子大橋(岡野)信子小林(小島)信子上松(田中)由美子宮下(角田)祐子飯塚将栄(故人)大塚(立野)敏子

昭和39/1964年卒業

田中若松

同窓会運営費納入者御芳名(敬称略)

卒業年は年度ではなく3月時のものです。

Table with columns for graduation year (e.g., 昭和20/1945年卒業), name, and amount. Includes a summary table at the bottom right showing total counts and amounts.

◆同窓会運営費にご協力を！
【ご注意】同窓会だより第36号(次号)は一部の方を除いて「同窓会運営費」を過去10年間に協力いただいた方のみに配布する予定です。
【お願い】一口(千円)以上の同窓会運営費にご協力ください

平成25/2013年卒業
宮本祐輝 輝
上角林康 康
上角田将太 太
川川礼 礼
平成26/2014年卒業
演吉岡幸美 美
吉岡友梨子 子
芦田菜穂 穂
高野航太 太
内健太郎 郎
溝口晴 晴
渡名1名
平成27/2015年卒業
嘉祥寺晃宏 宏
山原陽太 太
平成28/2016年卒業
宗近翼 翼
平成29/2017年卒業
上野彰士 士
芦田希大 大
花内田朝理 理
佐藤井あ 介
佐藤あ 介
平成30/2018年卒業
大久保真彩 彩
長曾我部克己 己
渡山木輝 輝
日柴家雪 雪
平成31/2019年卒業
石黒桃子 子
一聖 聖
令和2/2020年卒業
吉田美和 和
金子卓 卓
細井瑛由 由
坂野陽登 登
塩原進太 太
令和3/2021年卒業
浦藤航大 大
成相千咲 咲
木川村季洋 洋
木兒賀英聖 聖
齋莊佑輔 輔
高齊藤紗 紗
林穂泰太 太
秋元健一 一
新大井理太 太
中時山田 田
佐佐木光 光
旧職員
木忠郎 郎
大西保幸 幸
石本剛(故人) 人
内田子寛 寛
青山岸正 正
山岸正良 良
稲葉秀和 和
野山田俊弘 弘
山崎千恵 恵
川崎功明 明
藤原信功(故人) 人
佐藤寛明 明
佐佐木芳道 道
松照克男 男
小橋克麗 麗
吉田智恵 恵
金哲志(故人) 志
中南部 部

西(山下)麗 麗
石堂勝善 善
平成5/1993年卒業
志村(磯部)悦子 子
河南(庄司)和香子 子
平成6/1994年卒業
白石石義 義
野村文環 環
西田千尋 尋
鈴木郁太郎 郎
中島伸太郎 郎
小島堅一 一
君島堅一 一
平成7/1995年卒業
嘉山直樹 樹
平成8/1996年卒業
尾川真紀 紀
柴橋(大曾根)雅子 子
青山村勝明 明
小村林秀信 信
平成9/1997年卒業
吉陽一 一
島海山 山
鳥齋藤 藤
熊谷 谷
平成10/1998年卒業
阿部(岡田)明子 子
熊谷(井本)桂子 子
永田ゆうき 子
平成11/1999年卒業
寺田大介 介
山本慎二 二
山中本 本
小沢林俊也 也
平成12/2000年卒業
佐藤(小林)加代子 子
浅野(片司)基史 史
平成13/2001年卒業
安保龍太 太
西島盛信 信
島崎俊幸 幸
平成14/2002年卒業
長田麻里子 子
吉和泉雄 雄
和吉橋和 和
平成15/2003年卒業
今村雄人 人
古村慶寛 寛
平成16/2004年卒業
渡辺英明 明
横堀直博 博
平成17/2005年卒業
窪田優司 司
平成18/2006年卒業
長谷川佑太 太
細保洋敏 敏
明細島敏 敏
平成19/2007年卒業
今野野晴菜 菜
松田裕一 一
清水裕一 一
平成20/2008年卒業
野村太郎 郎
川崎裕和 和
渡川詩朗 朗
野村明美 美
平成21/2009年卒業
大澤重和 和
古川高明 明
平成22/2010年卒業
岡本敬太 太
坂本勝英 英
和田(加藤)路子 子
宮崎(生藤)つばさ 子
中村暢和 和
池田美佳 佳
瀬山陽 陽
小川(延原)由利子 子

昭和57/1982年卒業
滝口雅志 志
山中原崇 崇
吉大原孝公 公
大齋藤生彦 彦
森洪(藤田)順一 一
永合(佐波)真一 一
松永(佐波)か 友
梅澤村友康 康
嘉小前川(北原)順 順
今田英顕 顕
森吉(栗田)委 委
松井野洋 洋
原野智 智
内田(天野)裕美 美
木所(柗永)容子 子
菅間(竹山)景子 子
豊田義宏 宏
昭和58/1983年卒業
在伊智博 博
藤隆太郎 郎
佐藤(大川)浩美 美
根須貴郎 郎
蜂須崎秀美 美
佐藤(岩崎)な お
浅井(中村)由美子 子
石川忠雄 雄
堀宮沢秀英 英
湯森(浪越)里香 香
鈴木聡慶 慶
高橋(山井)真知 知
小野川和俊 俊
小奥松田美香 香
松田(山井)正 正
齊藤(山井)幸 幸
宇野善昌 昌
野智幸野 野
平成59/1984年卒業
飯沼(石川)智美 美
高井康平 平
金井潤一郎 郎
河合慎一郎 郎
加藤藤悟 悟
佐高宮春彦 彦
西宮春彦 彦
福島(飯田)理恵子 子
長沢晋哉 哉
横堀直博 博
蛇原昭勝(故人) 人
平成2/1990年卒業
渡邊光喜 喜
内藤桂介 介
阿波裕隆 隆
柴田みづ づ
五艘隆 隆
飯塚(朝来野)修子 子
山中(大久保)香織 織
信城(馬場)智子 子
河内(鈴木)直隆 隆
鈴木直亮 亮
吉永(菅谷)千穂子 子
國分(長谷川)茂夫 夫
高野(長谷川)伸子 子
堀内(長谷川)弘一 一
及川岳久 久
小内(河村)朝子 子
黒澤(鈴木)洋二 二
平野野悦也 也
竹野悦理 理
古池栗田 田
池田直彩 彩
瀬山陽 陽
小川(延原)由利子 子

坂井(仙谷)博子 子
瀬さつ男 男
大島悦尚 尚
小島夏一 一
細島野修 修
飯島(高館)晴子 子
小部友一 一
丸山一則 則
齋藤(海老原)光江 江
岡村(田中)弘子 子
佐藤(中村)真利子 子
田名葉 葉
昭和52/1977年卒業
原田成男 男
鈴木和正 正
大弘宣雅 雅
桐井(小池)俊江 江
渡辺(高山)純子 子
栗原(三山)志緒里 里
折國敏純 純
熊谷(佐藤)恵子 子
崎透真 真
西村田本 本
山本一 一
小高(鈴木)あけみ 子
鍵山(斎藤)信子 子
大井英雅 雅
片桐(佐藤)智子 子
佐藤(田中)みどり 子
岩井昭哉 哉
田口亨純 純
戸昌一 一
増渡俊浩 浩
北西藤藤 藤
高谷高和 和
高谷中 中
石田祐一 一
野田英彦 彦
佐藤(菊田)裕子 子
岡崎俊寿 寿
横田隆忠 忠
岩日部幸一 一
潭澤細博 博
堀湯野美 美
湯井宗直 直
磯野正一 一
田村(西川)照代 代
坪田(岩崎)美由紀 紀
内海(佐々木)雪子 子
古賀裕康 康
只松進一 一
山本尾彦 彦
昭和54/1979年卒業
北村雅海 海
清酒(矢澤)並行 行
丹野幸昌 昌
宮原昌宏 宏
長澤(久保田)ゆみ子 子
秋眞(田尻)美佳子 子
富沢理香子 子
山崎(中林)尚裕 裕
稲垣芳久 久
北倉英隆 隆
櫻井(菊池)綾和 和
小曾昌和 和
山賀睦浩 浩
吉田(奥川)さゆり 子
加田(三浦)智美 美

皆様のご協力に
感謝申し上げます



酒匂一揮

昭和55年卒
千葉県立船橋高等学校
校長
前千葉県高等学校野球
連盟会長

【選手としての高校野球】

1977年、昭和52年4月に県立船橋高等学校に入学し、野球部に所属した。当時の野球部は3年生5人、2年生2人の7名しかいなく、数年前に達成した夏の大会連続ベスト8の面影はなかった。1年生14人とともに高校野球生活が始まった。新チームからセカンド一番打者バッターとして試合に出ることになった。50メートル5秒9の逃げ足と人の癖を見抜き、フォームとして真似をする習性が功を奏し、3年間の盗塁成功率は99.9%であった。一度だけ、習志野高校バッテリーに盗塁を阻まれた。

しかし、自身の高校野球生活は順調ではなかった。1年の春先には肩を故障、夏の校内合宿では個人ノックで右鎖骨を骨折した。冬にはキャッチャーにコンバート直後に、軽症の椎間板ヘルニアを発症した。治療という名で練習をさぼっている間に、部内の雰囲気は一変していった。2年生の春の大会終了後、同期14名のうち8名が退部した。さらに、夏の大会後には1名が退部し、結果的には5名しか残らなかった。当時は、人は人、自分は自分と考えており、退部する仲間を説得しなかった。だが、数年後、彼ら

と当時を振り返った際、彼らは、思いとどまるように説得してほしかったと心情を打ち明けた。ここに、教員になる原点がある。教員になろうと思つた最大のきっかけは、野球部の監督であった高橋先生の一言であった。先生は、秋田大を卒業後すぐに船高に新任体育教師として赴任され、2年連続ベスト8の成績を残した。しかし、その後は退部者が多くなつて谷間の世代となり、特に、私の2年後輩の部員は全員が退部してしまつた。次の世代で再びベスト8に導き、先生は他校に異動した。先生の異動における会合で、先生は、「酒匂をもつといい選手にできたのに。当時は指導方法に悩んでいた。すまなかつた」とおっしゃつた。そうではない。私自身に問題があつたのである。「軽薄短小」、「三無主義」の言葉通り、私自身は、一生懸命に努力することを美德とせず、常に物事を斜めからとらえていた。何事にも真摯に向き合つていなかつた。大学受験に失敗し、挫折感を味わつていた時に聞いた先生の言葉が、私の心に突き刺さつた。高校野球の監督になりたい。最後までやり遂げる生徒を支援し、生徒とともに成長する教員になりたいと思つた。

【教員、顧問としての高校野球】

初任校で野球部の顧問となつたが、なかなか勝てなかつた。勝ちたい。勝つて自信をつけさせてあげたいと思えば思うほど、厳しく指導するようになっていった。生徒たちからは「鬼」と言われた。そんな時、高橋先生が率いるチー

ムとの練習試合で、先生から、「選手は相手チームではなく、お前と戦つている。」と言われ目が覚めた。その後異動した2校では、野球部長として部員の心のケアを中心に野球部顧問が続けたが、平成19年、45歳の時に県教育委員会への異動を命じられた。野球部の顧問になりたくて教員になつたのだが、野球どころか学校からも離れることになつた。中学校教頭、県教委、高校校長、県教委と異動し、令和2年4月に、本校初の同窓校長として赴任することになった。千葉県高等学校野球連盟副会長を拝命し、久々に高校野球に携わることになつた翌年には、会長を拝命し、コロナ禍での高校野球運営に真正面から関わることになつた。

【高野連会長としての高校野球】

県高野連会長は、理事35人、業務執行理事14人とともに、千葉県高校野球行事に携わる。会長としての最初の業務が春の県大会の運営であつた。春の県大会は、4月下旬から5月上旬まで行われ、開催日は本部球場に詰めた。GWはすべて野球漬けであつた。この大会で、我が後輩である船高野球部は、57年ぶりのベスト4に輝いた。主将に3位の賞状を渡せたことがとても感慨深い。

県大会終了後の5月下旬には、山梨で行われた関東大会で専修大、学松戸高等学校が優勝したため、何回も山梨県に車を走らせた。東京オリンピック・パラリンピックの関係で夏の大会の開会式を史上初の6月開催としたため、夏の大会の運営要綱の作成、警察や報道

などへの挨拶回りも同時期に行つた。夏の大会でのコロナ対策が頭を悩ませた。連日、校長業務を終えてから高野連本部に行き、理事たちと会議を繰り返した。第103回全国高等学校野球大会千葉県大会が開幕した。開会式の形態、入場料値上げ、考查による中断期間の設置、チケットのネット販売、スタジアムでのコロナ対策、クラウドファンディングなど前例のない取り組みを行つた。開会式の会長挨拶を短縮バージョンで行つたことから、千葉テレビでは、放映時間を埋めるために、急遽の会長インタビューが組み込まれた。夏の大会は、開会式の翌日から、4日連続の雨で順延が続くなど先行きが不安であつた。幸いにも天候は回復し、予定通り大会を終了できた。期間中は、朝から本部球場に詰め、試合が終了してから船高に行き、校長業務を行う日々であつた。8月に入ると、甲子園関連行事に時間を費やした。全国高野連会長会議、千葉県出場校の応援と大阪東京間を3往復した。8月下旬からは、秋季大会の運営業務にあたり、県大会中は本部球場に詰めた。10月に入ると、秋季関東大会のため水戸に宿泊して会長業務を行つた。

高校野球は、冬場は対外試合を禁止としている。よつて、校長業務に専念できるが、春の大会の打ち合わせや規約改正などの業務があつた。特に、初めて行う野球人口減少化対策事業では、本校野球部OBの理事をチームリーダーに据え、全県で展開することとした。

事業内容は、幼保小学生を対象に、高校生が指導者となつて野球指導を行うものである。球場確保、日程調整や参加要請など手探り状態であつたが、事業の第一歩を踏み出した。年が明け、選抜大会に木更津総合高等学校が選出されたことから、甲子園出場に向けた各行事が2月から始まつた。3月には、春の大会準備、甲子園への出向などの業務を終え、高野連会長の任期を終了した。

高校野球業務は激務であり、県高野連会長であつた1年間は、それこそ目が回るほど多忙であつた。しかし、高校野球に携われている充実感が身を包んでいた。定年後は、燃え尽き症候群に陥らないかと思つていたが、本紙2ページのあいさつにもある通り、現在も本校に関わっていることを幸せに思っている。

左写真 令和3年度第103回全国高等学校野球大会千葉県大会開会式であいさつする筆者



恩師探訪

「振り返れば」

石塚 由乙

平成四年四月、船橋高等学校での勤務に不安を抱いて、船橋競馬場駅から住宅街を抜ける道を歩いたことを覚えている。新しい環境に順応するのは得意ではない。学校環境も生徒状況も校内システムも異なり、右往左往することばかりだった。永く勤続されている先生方は特徴ある授業を展開されており、生徒の信頼も厚く、若い教員の憧れでもあった。

緊張して迎えた最初の授業を忘れることができない。音楽の授業に、多くの生徒が英語の辞書を抱えてきた。「なぜ？音楽の授業に英語の辞書は必要ないよ。」と心が叫ぶ。授業後、複数の生徒に「音楽の授業はこういうものですか。」と追究され、「今までの授業とかなり違うのだからか。」と不安になったことを思い出す。音楽選択者に、「ヘンデル作曲「メサイア」の「ハレルヤコーラス」をオーケストラの伴奏で歌わせたことが授業の一番の思い出だ。これはその後継続されていたと思う。

平成七年四月から三年間クラス担任をする。思春期真っ只中の生徒は、自由で活気に溢れていた。長いこと、芸術は四科から選択ができ、理科社会は全ての科目を履修させるという教育課程を守り続けていた。生徒は充実した教育課程のもと、幅広い教養を身に付けるとともに、多くの委員会・生徒会活動、部活動に励み、高校生活を満喫していた。それでも、日々の生活の中で、遅刻が常習だったり授業をボイコットした

りと、課題がなかった訳ではない。一方、まじめで頑張り過ぎて心が疲れてしまった生徒もいた。船橋高等学校の特徴の一つとして、早期から「教育相談」という概念があった。生徒指導と教育相談はいろいろ物議を醸すことも多かったが、多様な生徒を支援し、様々な状況を柔軟に対応する組織として機能していた。生徒は、個性を認め合い、様々な状況を理解した上で、互いを尊重し成長していった。そういえば、卒業生が記念品として寄贈したモノコメントはまだ校門の脇にあるのだろうか？合唱部の生徒とは三十年余りを経ても親交がある。うれしい限りである。余談だが、退職時、最後に担任をしたクラスの生徒たちと合唱部の十年にわたる教え子たちが集まり、それぞれお祝いをしてくれた。感謝である。

当時、女性教諭は未だ少なく、校長に女性教諭を増やすよう直談判したこともある。そんな中、担任として卒業生を送り出した後、管理部長学年主任という立場を経験する。未熟な私にとつて精神的に負担が大きかったが、何とかこの役割を果たすことができたのは多くの先生方のご支援のお陰である。心から感謝申し上げます。平成十四年三月、主任として卒業生を送り、私もここを卒業した。

平成二十五年四月、縁があつてまた船橋高等学校に着任した。十二年ぶりに通い慣れた道を歩き、しかし、

足取りはかなり重かった。生活時間が大きく異なる定時制勤務が不安だったばかりでなく、二年間にわたる、文科省の特別支援教育に関する実践研究「定時制高校普通科における発達障害を含む障害のある生徒のキャリア教育の在り方について」を実施することが決まっていたのだ。

当然、私の生活は一変した。原則十三時半から二十二時までが勤務時間だが、弁当を作つて八時過ぎには出勤する。午前中は事務処理や校長との打合せを行い、午後一時三十分には職員打合せで定時制業務がスタートする。副校長室は職員室の隣で事務室奥の一角にあつた。隔離された狭い場所が私の居場所だった。定時制の教員は、研究室ではなく二十数名全員が職員室に常駐していた。教員の机上に高く積み上げられた資料等で、互いに顔も見えない中、打合せや職員会議が行われていた。出張や研修など全日制の教員と同様に勤務した時も、生徒のことが気かりで、夕方には学校に戻り授業をする教員が多かった。

十七時過ぎに生徒が登校してくる。その前に、美味しい自校給食を検査し、夕食を済ませる。生徒は、四限授業を終了後、部活動を行い、二十二時に下校する。その後、校務を行う教員に「今日中には帰ろう。」と声をかけ、校内の見回り戸締りへと向かう。この時間帯に電話がかかってこないことを祈る。何かが起これば何時に帰れるかわからない。船橋高等学校の定時制は他校と比べて生徒数が多い。昼間働いて夜は学ぶという生徒ばかりでなく、中学時代に不登校傾向だった生徒、家庭状況も含めて悩み多い生徒、高校で学ぶことを夢見て入学した高齢の生

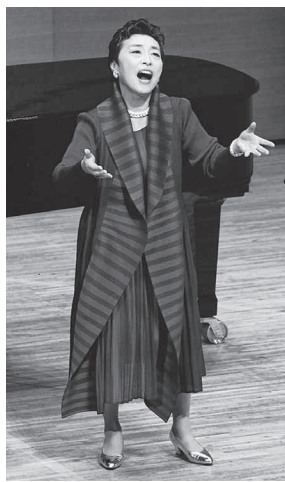
徒、ルールを守れないなど問題行動のある生徒、障害のある生徒や日本語のやり取りが難しい外国籍の生徒、トランスジェンダーの生徒も複数在籍していた。教員は、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を実践していたが、家庭をも巻き込んだ支援が必要な場合も多く、外部機関を含めた様々な組織と連携することが不可欠だった。自己肯定感の低い彼らを少しでも支援しようと、「生徒の自己肯定感を高め主体的に進路を選択し、将来の自立と社会参画のためのキャリア教育」に視点をあて教育活動の充実を図った。教員は研修を重ね、限られた時間の中で、体系的なソーシャルスキルトレーニングや職業体験活動を継続的に実施した。さらに高学年次の生徒に対しては、様々な組織と連携したネットワークを構築し、進路希望を実現するために必要な組織的・個別的な対応をするべく研究を重ねた。この実践研究を実施したことで、ユニバーサルデザイン化した学校体制を構築することができた。

生徒は多様な課題を抱えていたが、学業に部活動にと熱心に取り組む、特に、定通体育大会や総合文化大会での活躍は素晴らしいものがあつた。生活体験発表大会では、県の代表として六本木のホールで堂々と発表したこともある。

日頃から、互いを思いやりながらコミュニケーションを図り、定時制ならではのすてきな人間関係が垣間見られた。さらに、全日制との教室併用には、課題も多々あつたが、互いに切磋琢磨して夢を叶えていく仲間とし

て、全日制生徒と交流する姿も見られた。三十四年の教員生活の約三分の一を過ごした船橋高等学校は、あらゆる意味で私の人生に大きな影響を与えた。思い出は尽きない。

今は、約二十年ぶりに、小学校教員養成課程の学生に「音楽」に関する講義を行っている。また、何十年と続けてきたコンサートを、ライブワークとして続けていくつもりである。(左写真)



職歴	
昭和60年4月	千葉県立鎌ヶ谷高等学校 教諭
平成4年4月	千葉県立船橋高等学校 教諭
平成14年4月	千葉県子どもと親のサポートセンター 指導主事
平成17年8月	千葉県教育庁 企画管理部企画財政課 副主幹(兼務) ~平成18年3月
平成18年4月	千葉県教育庁 学校保健課指導主事
平成20年4月	千葉県立千葉西高等学校 教頭
平成23年4月	千葉県子どもと親のサポートセンター 主席研究指導主事
平成25年4月	千葉県立船橋高等学校 副校長(定時制勤務)
平成26年4月	千葉県立市川特別支援学校 校長
平成28年4月	千葉県立国府台高等学校 校長
平成31年4月	在宅
令和3年4月	秀明大学 特任教授 現在に至る

定時制サッカー一部 全国大会3位

令和4年7月30日から8月2日にかけて、全国高等学校定時制通信制体育大会第32回サッカー大会が静岡県静岡市清水区で開催された。県立船橋高校定時制サッカー部は4年ぶりに千葉県大会を優勝し、15回目の全国大会出場を果たした。大会直前、部員の多くが新型コロナウイルス感染症に罹患し、大会前は2週間近く練習をすることができず、大会前日に全員が復帰したことで何とか全国大会に出場することができた。しかしながら、選手は11人しかおらず、初戦(シード校であったため2回戦)は岐阜県の県立加茂高校との対戦であったが、後半アディショナルタイムまで0-1と負けており、敗退が濃厚な雰囲気が出ていた。残り2分の場面で獲得したコーナーキックから得点をしたことで1-1となり、試合終了間際のラスト1プレーでセンターサークル付近からのロングシュートが相手ゴールを突き刺し、劇的な勝利を果たした。準々決勝の神奈川県立神奈川総合産業・県立厚木清南高校(合同)との対戦は0-0の引き分けとなり、PK戦にもつれ込む展開となった。県立船橋のGKが相手の3人目のシュートを止め、県立船橋は5人全員がシュートを決めたことでベスト4入りを決めた。準決勝は静岡県の県立静岡中央高校との対戦であった。これまでの2日間でポロポロになった県立船橋の選手は最後まで懸命に戦ったものの、1-5と惨敗し、



(定時制サッカー部顧問 渡辺 政巳)

全国3位という結果に終わった。定時制の部活動は、平日は授業が終了した21時10分から21時50分までの40分間という限られた時間で、運動部も文化部も顧問と生徒が一体となって行っている。中学校時代やかつての学生時代に満足に学校生活を送ることができなかった生徒が生きて活動している姿は、千葉県の伝統校である県立船橋高校の誇れる姿であると同時に、定時制高校が社会にとつていかに必要で素晴らしい場所であるかを証明してくれていると言っても過言ではない。

全国大会に出場するにあたり、保護者の皆様や管理職の先生方のご協力はもちろんのこと、同窓会の皆様の多大なるご支援によって、定時制の生徒が最小限の経済的負担で大会に参加できていること、改めて御礼申し上げます。引き続き、定時制の生徒・職員が一丸となつて学校教育活動を行って参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

全日制 ソングリーディング部

ソングリーディング部は同好会から立ち上げて今年度で5年目になります。現在部員は3年生が8人、2年生が7人、1年生が12人の27人所属しています。今年度、同好会から部に昇格し、部員一同喜んでいきます。

さて、ソングリーディングとはどんなことをするかご存じでしょうか。ソングリーディング部です、と言うと「歌でも歌うの?合唱かゴスペルっぽい部活?」と何回か言われたことがあります。

ソングリーディングとは、いわゆるチアダンスのことです。チアダンスとは、チアリーディングから、ピラミッドを作ったりする組み体操のような動きやアクロバットを除く、純粋にダンスだけのものを言います。そしてチアダンスを競技にしたものをソングリーディングと言います。力強い腕の動きや、両足を180度以上開いたジャンプ、ターンやキックを入れながら、ポンポンなどの道具を持ってダンスをおこないます。

一見華やかに見えるチアダンスですが、柔軟性やバランス力に加え、瞬発的な力が必要とされ、その運動強度は2分間全力ダッシュをし続けるくらいと言われています。

Cheerには《励ます/元気づける》などの意味があります。私たちはチアスピリットの基、笑顔でパフォーマンスすることに、見ている人を励まし元気づけたいと思っています。その為、チアの『笑顔』は欠かせないので、大会の審査項目にも入っています。『笑

顔』で最後まで踊り続けられるように、体力作りも欠かせません。日頃の練習では踊った後、立ってられないくらい追い込み、体力を付けるために全力で練習しています。昨年度は、目標にしていた大会で全国大会に出場することができました。今年度も、もう一度同じ舞台に立つて自分たちのベストパフォーマンスを披露することを目指しています。

私たち自身が仲間と踊ることを楽しみ、その楽しさを『笑顔』に変えて、たくさんの人たちに元気を届けられる、そんな存在になりたいと思います。

大会以外では、学校行事の新入生オリエンテーションや文化祭、東船橋の地域イベントにも参加しています。機会があったらぜひ見に行ってください。

(全日制ソングリーディング部顧問 出澤 千恵)



出澤 千恵

在校生の活躍

令和4年度

《記号説明》
母校応援費の支給対象▼◎全国大会○地方大会◎全国大会の予選を兼ねるもの、関東大会など
地区大会▼①新入大会、②関東大会予選、③県総体、④その他

〔全日制〕
◇運動系部活動
ソングリーディング

◎All Japan Cheerleading & Dance Championship USA School & College Nationals 2022全国選手権大会高校編成Song/Pom部門Medium 11位 ○ダンスドリル秋季競技大会2021-関東大会SONG/POM部門Medium編成高等学校団体13位 ○Dance Drill Spring Festival 2022EAST東日本中学校・高等学校ダンスドリル競技大会2022SONG/POM部門Medium編成4位・審査員特別賞
アーチエリート

○令和3年度関東高等学校アーチエリート選抜大会男子個人出場 額賞
①男子団体2位(山本・額賞・薄井・佐名木・齊藤、県大会男子個人5位 山本、同6位 額賞、同15位 薄井、同16位 佐名木、②男子団体4位(山本・額賞・薄井・佐名木、県大会男子個人5位 山本、同ベスト16 額賞、同女子個人ベスト16 植村、③男子団体4位 山本・額賞・薄井・佐名木・齊藤、同男子個人12位 山本、同女子個人13位 植村、④令和4年度千葉県高等学校アーチエリート選手権大会男子団体5位(山本・額賞・薄井・佐名木・植村)、同男子個人ベスト16 額賞、同ベスト16 山本、同女子個人3位 植村

陸上競技
○総体関東大会男子800m出場 小林
①男子400m H 5位 三田 ②男子800m 6位 小林

水泳
○第73回関東高等学校水泳競技大会
会◎県総体8位入賞種目◎競泳男子出場 小川、大久保、小林、齋藤、森

木、同女子出場 森住

①水球ベスト8、競泳男子総合5位、同男子40m自由形5位 大久保、同男子100m自由形3位 大久保、同男子100m背泳ぎ5位 小川、同男子200m背泳ぎ3位 小川、同男子200mメドレーリレー5位(小川・森木・齋藤・小林)、同男子200mリレー6位(小川・小林・森木・齋藤)、同女子200m自由形8位 福田 ③水球ベスト8、競泳男子総合6位 同男子400m自由形4位 大久保、同男子100m背泳ぎ7位 小川、同男子200m背泳ぎ8位 小川、同男子400mリレー8位(小林・大久保・森木・齋藤) ④第52回千葉県高等学校選手権水泳競技大会水球ベスト8、競泳男子総合、同男子200m自由形6位 大久保、同男子50m平泳ぎ6位 森木、同男子50mバタフライ6位 齋藤、同男子100mバタフライ3位 齋藤、同男子400mリレー5位(小林・扇谷・齋藤) 大久保、同女子400m自由形7位 阪井、同女子100mバタフライ5位 森住、同女子200mバタフライ1位 森住

サッカー ①1回戦敗退 ③1回戦敗退 ④全国高校サッカー選手権大会千葉県予選2次予選敗退

ソフトテニス ①男子団体2回戦、同男子個人ベスト6(石渡・田辺組、石原・鈴木組) ②2回戦敗退(白井・井出組、内山・加美山組、熊澤・小村組)、女子団体出場、同女子個人ベスト6(鈴木・亀淵組) ②男子団体ベスト16、同地区予選優勝、同男子個人ベスト6(石原・鈴木組、同初戦敗退石渡・田辺組)、同女子団体2回戦敗退、同女子個人2回戦敗退 ④地区研修大会優勝(鈴木・亀淵組)、同3位(石渡・田辺組)

テニス ①男子団体1回戦、同女子団体2回戦 ③男子団体ベスト16、同女子団体1回戦 ④千葉県公立高等学校校テニス大会男子3位、同女子1回戦、高体連第9地区新人テニス大会男子団体準優勝、同男子個人S6位 荒木、同10位 鮫島、同男子個人D6位(荒木・鮫島)、同女子団体5位(荒木)

剣道 ①コロナ感染症拡大により大会中止 ②男子団体2回戦敗退 ③男子団体地区予選敗退 女子団体地区予選敗退

柔道 ④女子部員4名、初心者2名初段合格、再度の柔道場工事によりセミナーハウス和室にて活動

男子バレーボール ①地区予選敗退 ②地区予選敗退 ③地区予選敗退 ④高校選手権千葉県予選地区ラウンド敗退

女子バレーボール ①地区予選敗退 ②地区予選敗退 ③地区予選敗退 ④冬季地区1年生大会優勝、ロバース

卓球 ①男子団体ベスト16、同Dベスト16(鴛谷・伊藤組)、同S3回戦 鴛谷

文化系部活動 ①第69回NHK杯全国高校放送コンテストラジオオドキコメント部門準々決勝進出 高橋・渡邊・木寺・高橋

合唱 ②第77回千葉県合唱コンクール銅賞、第89回NHK全国学校音楽コンクール千葉県コンクール銅賞、第32回千葉県合唱アンサンブルコンテスト銀賞 ④第42回定期演奏会開催

生物 ④日本生物学会オンラインピック2022本選出場 佐々木 ④樹木ブレイクの設置、ピオトープ整備・継続観察中、果菜類の栽培、成長観察中

書道 ④千葉県高校総合文化祭出品、たばな祭出品 第38回成田山全国競書大会日輪賞 千脇 鈴木

軽音楽 ④たばな祭にて研究成果展示

美術 ④県総合文化祭美術工芸展出品、たばな祭作品展示、船橋地区展出品

華道 ④たばな祭にて作品(個人・合同)展示、第45回船橋市いけばな展(船橋市民ギャラリー)出展

自然科学 ④たばな祭において発表

英語 ④HPDU即興型英語スピーチ大会千葉県大会参加、HEND A型スピーチ大会千葉県大会参加、千葉県高校生英語スピーチ大会千葉県マナーカレッジ別大会参加、首都圏公立高校交流会参加

後援費の活用について 同窓会の役割は大きく次の二つだと考えます。①卒業生の親睦を図る②在校生及び母校を支援する。このうち②を実現するものが後援事業であり、具体的には母校応援費を使って主に在校生の部活動を支援しています。

後援費の活用について (続き) しかし従来の「母校応援費」は部活動の成果(全国大会・地方大会への出場)に対する後援(一人一万円、団体戦は六万円が上限)のみでした。今後さらに、在校生に活躍してもらったために、部活動には限らない従来の上限を超えた支援が必要になることが予想されることから、学校側とも協議した上で新しい後援の方法を検討してまいります。

定時制 ④関東地区高等学校校定通サッカー大会ベスト8

令和3年度 ④全国高等学校校定通体育大会サッカー3位 丸田、同女子D3位(防野・宮川)、同女子D準優勝(大内・三木)

令和4年度 ④千葉県高等学校春季定通体育大会サッカー優勝、同バドミントン男子S3位 丸田、同女子S3位 三木、同女子S3位 キサン、同女子D準優勝(菊地・大内)

後援費の活用について (続き) 同窓会の役割は大きく次の二つだと考えます。①卒業生の親睦を図る②在校生及び母校を支援する。このうち②を実現するものが後援事業であり、具体的には母校応援費を使って主に在校生の部活動を支援しています。

後援費の活用について (続き) しかし従来の「母校応援費」は部活動の成果(全国大会・地方大会への出場)に対する後援(一人一万円、団体戦は六万円が上限)のみでした。今後さらに、在校生に活躍してもらったために、部活動には限らない従来の上限を超えた支援が必要になることが予想されることから、学校側とも協議した上で新しい後援の方法を検討してまいります。

後援費の活用について (続き) しかし従来の「母校応援費」は部活動の成果(全国大会・地方大会への出場)に対する後援(一人一万円、団体戦は六万円が上限)のみでした。今後さらに、在校生に活躍してもらったために、部活動には限らない従来の上限を超えた支援が必要になることが予想されることから、学校側とも協議した上で新しい後援の方法を検討してまいります。

後援費の活用について (続き) しかし従来の「母校応援費」は部活動の成果(全国大会・地方大会への出場)に対する後援(一人一万円、団体戦は六万円が上限)のみでした。今後さらに、在校生に活躍してもらったために、部活動には限らない従来の上限を超えた支援が必要になることが予想されることから、学校側とも協議した上で新しい後援の方法を検討してまいります。

おたより彼れ是れ

●鈴木 仁(昭和27年卒)

一九三三年生まれ、八十九歳ですが未だにかつての同学年の諸兄妹との交流が続いて居り、時には会食を楽しんでおります。道本ルームの諸兄も段々と数が減りました。道本先生の厳正且つ適切な教えを懐かしく思い出しております。

●小井土武(昭和28年卒)

同窓会の栄光を祈念します。

●東(田崎)皋子(昭和30年卒)

船高100th Anniversaryのポールペンで書いています。書きやすいです。色も良いし、しゃれています。見るたびに嬉しく思います。船高は永遠です。同級生はずいぶん旅立ちました。

▼ポールペンは百周年記念募金事業に寄付いただいた方にお配りしたものです。(編集部)

●小島 巖(昭和31年卒)

コロナ収束ままならず。さてこの先は何時になるかな。米寿(八十八歳)で卒後の晩餐会※と考えております。それまで何人残っているかの方が心配です。がんばります。2022年7月に生物部のOB会は実施しました。次回の同窓会企画出来る事願う。ありがとう。

(※米寿の会はもう少し様子を見てから考えます。と連絡がありました。)

●森 良治(昭和31年卒)

創立百周年記念演奏会、期待しております。

●天野(加藤)幸子(昭和32年卒)

芳名録にクラスの人の名前を見ると元気でいるんだと嬉しくな

ります。

●伊藤康成(昭和39年卒)

ずっと以前から気になっていたのですが「同窓会だより」はなぜ遠方の(株)サラトが印刷しているのですか？近くにもあるいはOB・OGにも印刷屋さんはあるのでは？

▼(株)サラトに委託しているのは、単に同窓会だよりを印刷するだけではなく、個人情報保護法に基づく会員管理をすると同時に印刷・発送ができる会社だからです。千葉高、浦和高など全国の大組織の同窓会の多くが利用しています。なお当校の担当は東京支社です。(編集部)

●辻丸卓美(昭和42年卒)

「御成街道ゴミ狩り駅伝」船橋東照宮から東金まで四十二キロを四分割して年4回実施に参加しています。

●小倉純夫(昭和46年卒)

船高創立百周年おめでとうござい

ます。我が身を振り返ると卒業してから五十年たつていました。つい昨日のような気がしています。

●辻本(山田)信子(昭和47年卒)

同窓会だより、いつもありがとうございます。遠く大阪から応援しております。おたよりの文字が小さくなったのが気になりました。

●佐藤(田中)みどり(昭和52年卒)

明けましておめでとうござい

ます。母校の現役生の活躍、卒業生の健康を祈念いたします。

●永須美保子(昭和56年卒)

母校の創立百年を嬉しく思いま

す。日本の若者ががんばれ。

●奥永俊哉(昭和58年卒)

数年前から「春の同窓会」に出席

させていただきます、旧交を温める事ができておりましたが、再開できる日は嬉しいですが、再開できる日を楽しみに日々過ごして参ります。皆様もご自愛ください。

●松永(佐波)真理(昭和61年卒)

早くみんなで会えるようになり

たいですね。

●中村 亮(平成8年卒)

宮城県の高校教員として毎年の

母校の奮闘を見て、自らの教育

の実践に励みになっていきます。

●戸村千恵子(旧職員)

コロナ禍三年目、中々収束ま

ならない現実です。自らの身心

の健康維持の為マイペースでス

ポーツ等(卓球・合唱)を続けて

います。

千葉県立船橋高等学校 創立百周年記念
在校生・卒業生合同演奏会
 2023年1月22日(日) 13:30開演
 習志野文化ホール

共催：船高記念演奏会実行委員会、千葉県立船橋高等学校同窓会

卒業生合唱団 & 合唱部
千葉県立船橋高等学校 校歌 (無伴奏混声四部合唱)
 卒業生合唱団 & 合唱部 指揮：吉田 宏
赤とんぼ (無伴奏混声四部合唱)
 合唱部 指揮：佐々木 悠里香
合唱曲 (未定)
 オーケストラ部 指揮：佐々木 悠里香
オケ曲 (未定)
 オーケストラ部 & 合唱部 指揮：田久保 裕一
オラトリオ「メサイア」よりハレルヤ
 卒業生管弦楽団 & 卒業生合唱団 (在校生合唱希望者を含む)
 指揮：田久保 裕一
ベートーヴェン交響曲第九番 二短調 作品125「合唱付」

【記念演奏会の共催について】
 この度同窓会では、本年度の総会で当演奏会を共催することを決定しました。ご存知の通り本校は2020年に創立百周年を迎え数々の記念行事を開催することになっておりました。しかしながら新型コロナウイルスの影響により行事の縮小または中止を余儀なくされたものも多くあり、ここにご案内する記念演奏会もその一つです。本来であれば2021年1月に開催する予定でしたが2年越しで実現することとなり、同窓会としても創立百周年記念事業の一環としてこの演奏会を開催いたします。

【同窓生の観覧について】◆応募多数の場合は抽選になります
 全席自由・無料ですが入場整理券が必要です。観覧ご希望の方は官製往復葉書(1枚につき1名)に「住所・氏名・卒業年」を記入し、返信宛名面にも住所・〒・氏名を記入して下記あて12月30日必着でお送りください。なお返信文書面は未記入をお願いします。詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。
 〒273-0003 船橋市宮本3-2-17 森(同窓会第九係)

【問合せ】funako100dai9@gmail.com
 学校へ問い合わせすることはできませんのでご注意ください。

春の同窓会中止について

昨年度に引き続き本年度の「春の同窓会」は中止といたします。

遺憾ながら現在の社会情勢から見て、まだ「春の同窓会」を安心して開催できる状況にはないと判断し、二〇二三年二月十一日に予定される同会の開催を中止とします。なおこれにより幹事学年は順送りととなり、二〇二四年に開催できる場合は昭和五十四年卒(高瀬賢治実行委員長)が担当いたします。

編集後記

おたより彼れ是れでも指摘がありましたように、前号については多くの方から「文字が小さい」というご意見を頂戴しています。私も六十代半ばを過ぎていますから「こもつともです」と言わざるを得ません。限られた誌面スペースと予算の狭間で詰め込みすぎた、と反省した次第です。そこで今号は文字サイズを幾分か大きくし、読みやすくしたつもりですが如何でしょうか。なお同窓会HPにあるPDF版は拡大してご覧になれますのでお試しください。

今号も全会員にお届けできました。改めて多くの方々のご協力に感謝申し上げます。
(森和俊 記)